

令和5年度第1回羽島市健幸づくり施策検討委員会（会議要旨）

日 時	令和5年7月21日（金） 午後1時30分～2時40分
場 所	羽島市役所 3階301会議室
出 席 者	<p>（委員）出席者11名 田中 吉政（羽島市医師会会長）、加藤 誠一（羽島市自治委員会理事）、河合 悟（羽島歯科医師会会長）、小川 徹（羽島薬剤師会副会長）、稲葉 静代（岐阜保健所長）、浅井 廣志（羽島市民生委員児童委員協議会会長）、鈴木 登司雄（羽島市老人クラブ連合会会長）、高砂 房子（高砂学園理事長）、橋本 麻記子（羽島市PTA連合会代表）、立花 智美（羽島市総合型地域スポーツクラブ代表）、不破 直子（羽島市食生活改善連絡協議会会長）</p> <p>（事務局）8名 松井 聡（羽島市長）、横山 郁代（健幸福祉部 子育て・健幸担当部長）、國井 真美子（子育て・健幸課 健幸担当課長）、柴田 恵津子（子育て・健幸課 健幸担当課長補佐）、赤嶺 真理（子育て・健幸課 健幸増進担当課長補佐）、岩田 美千代（子育て・健幸課 主査）、小塚 佳良（子育て・健幸課 主査）、永田 美香（子育て・健幸課 主任保健師）</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 議事 （1）子育て・健幸課保健事業 令和4年度実績・令和5年度の取り組み</p> <p><質疑応答等></p> <p>委 員：乳幼児健診受診が困難である医療的ケア児に対して羽島市では、健診が実施されているのか。</p> <p>事務局：医療的ケアが必要な方で健診受診をされてない児に対しての市の健診は実施しておりません。</p> <p>委 員：1歳6か月児健診受診率が100%を超えているというのは、同じ人が2回受診したということか。</p> <p>事務局：1人が2回受診したことではなく、前年度未受診者が次年度の健診にずれこみ受診したことにより、100%を超えている。</p> <p>委 員：ベジチェックの測定機器は羽島市が所有しているものか。</p> <p>事務局：市では所有していません。市と健康増進に関する連携協定</p>

を締結している明治安田生命保険相互会社の測定器を使用し協働で測定会を実施した。

委員：子宮頸がんワクチンの接種率が低いように思う。教育委員会や学校の養護教諭と協力し接種を働きかけることでがん予防につながると考える。学校と協力した勧奨はどのように進めていくのか。

事務局：チラシなどを作成して啓発をする予定。

委員：妊婦歯科健診は、安定期を迎えたら早期受診を呼びかけてほしい。

1歳6カ月児、3歳児健診でフッ素塗布を行っているが、1歳6カ月児健診でう歯がある児については、10か月の時点ですでに問題があることが多い。できるだけ早い時期である10か月児健診時に歯科健診を実施することが重要。フッ素塗布は、歯科医院においては、市で実施するより、より継続的に実施できる。

事務局：市では1歳6カ月児、3歳児健診、はみがき教室で、歯科健診・フッ素塗布、個別にブラッシング指導、栄養指導を実施している。今の体制を継続していきたい。10か月健診の歯科健診については、他市町の状況をみながら検討したい。

(2) 元気はしま 21 (羽島市第3期健康増進計画) 骨子案

委員：健康日本 21 の中に、咀嚼良好者の割合が示されており、口腔機能に着目する必要性が記載されている。成人歯科健診受診率向上のみでなく口腔機能向上も重視する必要がある。

委員：ロコモに関する指標などは、重要視されてきていると思うが、市の計画には入ってこないのか。

事務局：現計画の指標には入っていない。今後検討していく。

委員：計画の評価は、データ (PHR 等) を活用し、新たなアンケート調査がなくても合理的・効率的に行える仕組み作りが必要。

誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備については、身近な場所で運動が自然にできるような公園・歩道の整備といった環境整備が自治体の施策として求められる。

事務局：当市の既存データや問題を把握しながら、国の次期計画指標に基づき、市の次期計画を策定していく。